

# コミュニティ・スクールだより

おおさわ学園

コミュニティ・スクール委員会

学園と保護者と地域の連携を深めるために

会長 菊地 陽子

## ☆ 今年度もたくさんのご協力ありがとうございました ☆

おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会の6年目も、保護者・地域など、たくさんの方々のご協力により、活発に活動することができました。この1年を振り返り、各部会のご報告をさせていただきます。

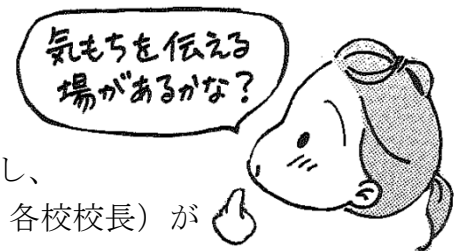
### 評価部

部会長 今村 知子

2学期に学園三校が学園アンケートを実施した後、評価部ではCS委員による熟議の準備をします。学校、保護者、地域の様々なメンバーからなるCS委員が、アンケート結果などを見て、意識を共有し、目線を合わせる。そして、その先にめざすことへのアクションが生まれるよう、各々の立場でできることを探るためです。

### §何が課題でしょう？

今年度は、そのCS熟議の前に「拡大評価部会」を提案し、12月26日に評価部メンバーとCSの役員（会長、副会長、各校校長）が集まって、熟議のテーマを考えました。



「ゲームやネットのルール作りが必要では?」「学校の指導だけでは無理、保護者との連携が必要」「生活習慣ができていないことがとても困る」「子どもが授業を理解していないという不安の声があります」「問題が大きくなる前に学校に相談してほしいが・・・」「小小交流、支援級との交流など交流の時間を確保するのは本当に難しい」など、2時間にわたる活発な話し合いから出た課題は、「ネット」「コミュニケーション」「家庭学習」「生活習慣」「支援学級理解」「授業改善」「読書習慣」でした。

どの課題も、学校と保護者、保護者同士が、共通認識を持って子どもに向き合わなくては解決しないものだが、お互いに「こうしてほしい」と伝えにくい状況があるのではないか、そこに地域が果たせる役割があるのではないか、何でも学校まかせではなく、保護者や地域の役割を考えていこうということでした。

### §問題意識を実践につなげたい



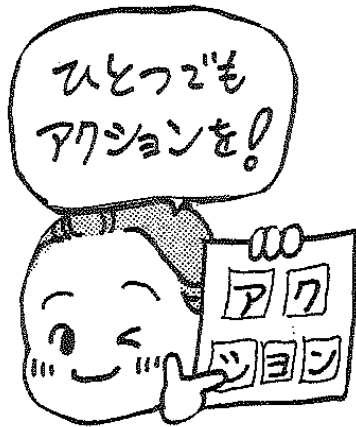
評価部カット協力  
竹林知子さん

この話し合いをふまえ、1月13日のCS委員会で熟議を行いました。

「学校、保護者、地域が、コミュニケーションをとるための「場」「きっかけ」「しくみ」を考える」というテーマで話し合い、様々なアイデアが出ました。

「夜の保護者会」「給食試食会に地域の方も呼ぼう」「未就学児の親の相談にのれる遊び場を学校に」「若い世代が参加しやすい地域行事」「SNSで相談窓口」「CS主催で教育支援教育を学ぶ場を」「保護者向けネットの危険講座」「保護者と卒業生の親との交流会」「学習支援

サポート隊」「大人もあいさつ」・・・。



まずはコミュニケーションの場を、という話し合いの中に、「N oゲーム日」「漢字計算一日一問」「台所で宿題」などの即効薬?も飛び出しました。地域自体も盛り上げないと、なども。

たくさん出たアイデアを、学校、保護者、地域のグループにわかれて、どれなら実現できるかなど、さらに話し合いました。来年度の活動につなげられればと思います。

話し合いの中で出た地域メンバーの言葉を記しておきます。

「長い目で人生全体を見て、何が大切か「基本」を教えることで子ども自身が判断して行動できるようになってほしい。そんな、地域ならではの大きな考え方を、保護者や学校に伝えたい」

## 地域部

部会長 海老澤 誠

子どもは地域の宝です。子ども達と学校と保護者が互いに信頼し合い、それぞれの立場で成長を支えていくサポートを進め、より良い地域コミュニティづくりを目標として、地域部は学校と地域のつなぎ役をこれからも継続して行きます。

### § 主な活動としては

- 地域の皆様とお話とふれあいの会（地域の方々と学校をつなぐための意見交換会）
- 漢字検定（主に七中生徒対象）
- 七中生の地域活動のなかでのボランティア参加の調整となります。



### § 地域と学校をつなぐためには

1. ご家族に在校生がいらっしゃらない地域の方々にも、学校に関心を持ってもらう。
2. 地域の方々に学校とはどんな場所かを理解してもらう。
3. 在校生を持つ保護者の方々にも、地域の活動に興味を持ってもらい参加してもらう。
4. 子供たちに、自分で考える力を持ってもらうための機会を作る。

これらのことを考え実行しながら、学校や地域行事を通して、お互いが理解し、協力参加しやすい場を地域部が窓口となり作って行きたいと思っております。

保護者を含む地域の方々のさらなるご協力をお願いいたします。

## 《 25 年度活動報告 》

- 7月24日 地域の皆様とお話とふれあいの会 総勢約80名参加
- 8月23日 漢字検定 三鷹中央学園のご協力より第三小学校にて実施、26名参加
- 12月1日 漢字検定 第七中学校にて実施、13名参加

## 《 26 年度活動予定 》

- 7 月中頃 地域の皆様とお話とふれあいの会
- 7 月 11 日、10 月 24 日 漢字検定 七中にて実施予定

### コーディネート部

部会長 上田 千晶

今年度も《おおさわ学園サポート隊》の活動に、地域や保護者の皆様に多大なご支援をいただき有り難うございました。お陰様で、各校で地域人財の力を活用した様々な学習活動を行うことができました。

大沢台小では、定番となった「算数サポート」や今年度から始まった「読み聞かせボランティア」など、羽沢小では、定番「野川ワールド」の他「夏休みプール受付」や「なわとび検定」など、多くの保護者・地域の方の参加をいただきました。



七中では、「部活動見守り」に保護者・地域の方のご協力をいただき、多くの練習時間を確保することができ、また多くの ICU の学生の支援により「放課後補充教室」が軌道に乗りました。



今年度、コーディネート部では、サポート隊の方にアンケートを実施し、その結果から効果や課題を検討し、また、先生方にご協力いただき「サポートの効果と課題」を作成いたしました。

次年度に向けて、より良いサポート活動が行えるよう、一つ一つ課題を解決していきたいと思ます。

サポート活動を通して、保護者や地域の方にも「一緒に作り上げるおおさわ学園の教育」を実感していただき、子どもも大人も楽しく関わっていただけるよう工夫してまいります。どうぞ、来年度もサポート隊活動にご協力ください！

#### 【平成25年度おおさわ学園 サポート隊 活動実績】

	大沢台小学校	羽沢小学校	第七中学校	合計
サポート要請	19 件	19 件	16 件	54 件
サポート隊参加者延人数	672 名	338 名	326 名	1336 名

## ☆ CS 古本リサイクル ☆



おかげさまで、今年度も「古本リサイクル活動」から、三校に合わせて100冊以上の本を寄贈することができました。

年度末のおそうじなどで、ご家庭でご不要になった本をおおさわ学園各校にお寄せ下さい。学校図書館、学級に寄贈するほか、学園古本市などに活用させていただきます。

【持ち込み場所】大沢台小、羽沢小、第七中 各校の学校図書館

【古本回収日】「図書館地域開放」原則 土曜日 9:00~12:00 の間にお持ちください

\*春休み中は閉館です。開館予定はコミュニティ紙「おおさわ」などでお知らせします。

\*小中学生向き良書、絵本を大歓迎です。美品であれば、問題集・参考書(小・中・高問わず)、一般書、文庫本、マンガもOK。英語など外国語の絵本、児童書、サブリーダーなども是非お願いします!

## ☆ サポート隊登録のお願い ☆

おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会では、サポート隊メンバーを随時募集しています。学園の児童・生徒に、たくさんの「できる喜び」や、「学ぶ楽しさ」を知ってもらうため、先生から依頼された授業などに入り、先生の指導の下、そのお手伝いをしていただける方を募集しています。

メール配信については、現在 yahoo グループからの移行を検討中です。来年度については、またご報告させていただきます。

### 登録手続の方法

[osawa\\_g1@yahoo.co.jp](mailto:osawa_g1@yahoo.co.jp) (おおさわ学園 CS 委員会メールアドレス)宛に

「サポート要請メール」を受信したいメールアドレスから下記「送信内容」をお送りください。

登録内容	送信内容 (例) ★この欄の内容のみ送信★
サポート隊登録ご本人氏名 (ふりがな)	① 大沢 太郎 (おおさわ たろう)
新規登録 または 再登録	② 新 または 再
サポート要請を受信するメールアドレス (*変更・訂正等必要の方もご記入下さい)	③ <a href="mailto:ABCD123@ezweb.ne.jp">ABCD123@ezweb.ne.jp</a> ※受信するメールアドレスから送信する場合は記入の必要はありません
学校とサポート隊登録ご本人の関係 A: 地域・その他 (大学生、卒業生保護者など、どなたでも) B: 保護者 (第七中学校・大沢台小学校・羽沢小学校) 児童・生徒 年 組 氏名 *学園に在籍するすべてのお子さんを記入	④ A 七中卒業生保護者 *大学生は学年をご記入下さい B 大沢台小 3-1 大沢花子 七中 1-B 大沢次郎
住所 (任意 丁目までで構いません)	⑤ 三鷹市大沢 1 丁目
電話番号 (任意)	⑥ 0422-××××-〇〇〇〇

1年間ありがとうございました。また来年度も、どうぞよろしく願いいたします。